

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和元年度

施策コード 331

施策 地域福祉の推進

管理事業 社会福祉事業

3 枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 福祉保健サービス苦情処理事業	福祉総務室	市が行った福祉保健サービスの内容等の苦情申立について、福祉オンズパーソンが公正・中立な立場から内容を調査・審査し、必要に応じて市に対する是正勧告、制度の改善に係る提言を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・令和元年度は苦情申立がなかったことから、事業費は発生していない。 ・行政に対する権利利益の救済手段としては、行政不服審査法に基づく審査請求等、様々な制度があるが、吹田市福祉オンズパーソン制度は、職員では対応が困難な苦情を福祉オンズパーソンが公正・中立な立場で処理することにより、市民の権利利益を擁護し、公正・公平な市政を推進できると考えられる。 ・苦情申立では、原則書面で行い、福祉オンズパーソンとの面談日は予約制で実施しているため、結論が出るまでに多くの時間を要することが課題である。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 社会を明るくする運動事業	福祉総務室	犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生に対する住民の理解を深めるため、毎年7月を強調月間として駅頭啓発、市民集会や地域集会の実施等、法務省主催の「社会を明るくする運動」を推進する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
503	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・「社会を明るくする運動」の認知度向上のため、駅頭啓発や市民集会については、より効果的・効率的に開催できるよう、実施方法や開催場所を検討する必要がある。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ 日常生活自立支援事業補助事業	福祉総務室	認知症や障がい等により判断能力が十分でない人が地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の日常生活自立支援事業を行う吹田市社会福祉協議会に対し、事業に要する経費の一部を補助する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
11,699	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・吹田市社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置された地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であり、本市の地域における福祉活動推進の中核的な役割を担っている。 ・同協議会の実施する日常生活自立支援事業は、利用希望者が増加傾向にあり、恒常的に待機者が発生している。 ・今後も、高齢化の進展等により本事業の利用希望者は増加する見込であり、これまで以上に効率的な事業運営が求められる。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ 地域福祉計画推進事業	福祉総務室	地域福祉計画推進委員会において地域福祉計画の策定や進捗管理に係る審議を行う。また、地域福祉推進のための市民啓発として、福祉に関する意識啓発や地域福祉市民フォーラムを実施する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
2,770	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・現計画である「第3次吹田市地域福祉計画」の終期が令和2年度(2020年度)であるため、令和元年度(2019年度)から次期計画の策定を進めている。 ・策定に当たっては、地域社会を取り巻く環境の変化や国が掲げる「地域共生社会」の重要性を踏まえ、住民が主体的に地域の課題解決に向けて活動できる体制の整備に向けた検討が必要である。また、アンケート調査やワークショップ等で市民意見を聴取しているが、より多くの意見を聴取できる手法について検討する必要がある。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤ 地域支えあいネットワーク推進事業	福祉総務室	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)等を配置し、地域の総合相談・支援を行い、地域団体や専門機関、地域包括支援センター等と連携しながら、地域の支えあいネットワークづくりを進める。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		拡充
101,106	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・地域支えあいネットワーク推進事業により配置しているCSWによる相談支援の取組は、令和元年度は相談者数709人(平成30年度:686人)、延べ相談対処回数1,729件(平成30年度:1,825件)となり、相談者数が前年度を上回る結果となった。 ・地域住民同士のつながりが希薄化するとともに複合的な課題を抱える市民が増加する中、市民が気軽に相談できるように本事業やCSWの認知度向上を図るとともに、多様な相談内容に対応し、関係団体・機関との連携が推進できるよう、引き続きCSWの資質向上や重層的な支援ネットワークの構築を進める必要がある。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑥ 災害時要援護者支援事業	福祉総務室	災害時、避難する際に支援を必要とする人(災害時要援護者)に対する支援体制を構築する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		拡充
860	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・災害対策基本法の改正に伴い、災害時要援護者名簿の作成、地域支援組織関係者への名簿情報の提供等が規定され、年々業務量が増加している。 ・一昨年の大阪府北部地震等の災害発生から、改めて災害時要援護者支援の課題が浮き彫りとなり、これまで以上に関係機関等や地域との連携のもと、あらゆる取組を推進していく必要がある。 ・導入から一定期間が経過した災害時要援護者名簿作成等に係るシステムは、改修もしくは再構築に向けた検討が必要である。		

上記以外の予算事業 ※ 一般事務事業、還付・償還事業、繰出事業、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などはこちらに記入。

事業名	所管室課
一般事務事業	福祉総務室
千里ニュータウンプラザ施設管理事業	福祉総務室
還付事業	福祉総務室

事業名	所管室課

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和元年度

施策コード 331

施策 地域福祉の推進

管理事業 社会福祉事業

3 枚のうち 2 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑦ 地域福祉推進活動補助事業	福祉総務室	地域における住民同士の交流促進のため、社会福祉法人吹田市社会福祉協議会が実施する地域福祉推進活動に対し、実施に要する経費の一部を補助する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 66,814	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・吹田市社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置された地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であり、本市の地域福祉推進の中核的な役割を担っている。 ・同協議会が行う地域福祉推進活動や地区福祉委員会が中心となって行うふれあい昼食会や子育てサロンなどの小地域ネットワーク推進活動は、地域における住民同士のつながりづくりに大きく貢献している。今後とも補助内容を精査したうえで適切な支援を行う必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑧ 福祉活動補助事業	福祉総務室	吹田市民生・児童委員協議会が行う児童健全育成に関する啓発活動等、地域福祉の推進に関する社会福祉活動を行う福祉団体に対し、活動に要する経費の一部を補助する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 12,595	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・本事業において補助を受ける吹田市民生・児童委員協議会等の社会福祉団体は、それぞれの分野において、地域福祉の増進を目的に活動している。 ・各団体の活動が効果的に実施されるよう、補助内容を精査したうえで適切な支援を行う必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑨ 地域福祉推進事業積立事業	福祉総務室	市民や事業者等からの地域福祉推進のための寄附金を、地域福祉基金に積立てるとともに、基金の利子を地域福祉推進のための事業に活用する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 23,134	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・同基金を活用し市が普通財産として取得した土地について、定期借地契約により民間事業者に賃貸することに伴う賃料収入相当額についても積立している。 ・基金を運用し、その利益を地域福祉推進のための事業に充てる等により本事業は適正に実施されている。 ・令和元年度は多額の寄附金を地域福祉基金に積立ることができた。その基金の運用益を地域福祉推進のための事業に充当しているが、近年の預金利率の低下など、資産運用上の課題がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑩ 災害救援活動補助事業	福祉総務室	吹田市赤十字奉仕団が行う災害救援活動を支援するため、毛布等の災害救援品の購入に要する経費の一部を補助する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 160	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 被災者の負担軽減を図るため、限られた予算の中でも品質や使い心地が良いものを提供できるよう努める必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑪ 戦没者追悼式実施事業	生活福祉室	先の大戦での戦没者、原爆死没者ならびに戦争犠牲者に対し追悼の誠を捧げ、恒久平和の誓いをこめて追悼式を開催する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 892	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 戦没者遺族の高齢化に伴う参列者の減少等の問題はあっても、単なる式典の開催にとどまらず、平和について考える重要な契機となっている。今後において、本事業の開催意義について、積極的に発信を行っていく必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑫ 災害弔慰金の支給、災害障害見舞金の支給及び災害援護資金の貸付	生活福祉室	災害弔慰金の支給等に関する法律および同法施行令に準拠し、自然災害により死亡した被災者の遺族又は身体、精神に著しい障がいを受けた被災者に対して、生活の支援を目的として、死亡弔慰金等の支給を行う。	事業全体が法定事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 0	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 令和元年度の支給及び貸付実績はないが、災害による被災者等に対して死亡弔慰金または災害障害見舞金の支給を行うことは、災害により生活に困窮する被災者や死亡した遺族の生活の安定を図るために大きな効果があり、事業を継続することは、市民および地域福祉に貢献するものである。弔慰金の支給にあたっては速やかな事務の執行に努めていく。	今後の方向性 継続

上記以外の予算事業 ※ 一般事務事業、還付・償還事業、繰出事業、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などはこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和元年度

施策コード 331

施策 地域福祉の推進

管理事業 社会福祉事業

3 枚のうち 3 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑬ 緊急援護資金の貸付事業	生活福祉室	一時的な支出の増加及び収入の減少により、日常の生活を維持することが困難な世帯に対して、その生計の維持を目的として貸付を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 基金	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 生活保護に準ずる困窮世帯を対象に、10万円以内(入院による場合は20万円以内)の貸付を行っているが、前年度の貸付実績はない。無利子の貸付であり、次の収入までをつなぐものとして生活困窮者の生活維持に一定の効果があるため、今後も継続することが妥当であると考え。なお、本事業は緊急援護資金貸付基金にて運営を行っており、基金総額は8千万円となっている。今後、引き続き適正な債権管理に努めていく。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑭ 災害救助資金の貸付事業	生活福祉室	災害対策基本法に規定する災害により著しい被害を受けた被災者に対して、その生業の維持及び家屋補修等の復旧資金の貸付を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 基金	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 平成30年度に発生した自然災害被害により、令和元年度は件数1件、30万円の貸付実績となった。被災者の生活再建に役立つものであり、本事業を継続することは、市民および地域福祉に貢献するものである。なお、本事業は災害救助資金貸付基金にて運営を行っており、基金総額は1億5千万円となっている。今後も、速やかな貸付事務に努めていく。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑮ 災害見舞金等支給事業	生活福祉室	災害による被災者に対する生活の支援を目的として、災害見舞金及び災害弔慰金の支給を行う。また、被災者生活再建支援金事業に基づいて、支援金を支給する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 14,381	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 災害による被災者等に対して見舞金または弔慰金の支給を速やかに行うことは、被災者への救済支援として大きな効果があり、事業を継続することは、市民および地域福祉に貢献するものである。被災者生活再建支援金に基づく支援金の支給は令和元年度に事業が終了したが、引き続き被災者に対する見舞金や弔慰金の速やかな支給に努めていく。	今後の方向性 縮小又は再構築など

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑯			
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円)	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑰			
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円)	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑱			
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円)	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

上記以外の予算事業 ※ 一般事務事業、還付・償還事業、繰出事業、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などはこちらに記入。

事業名	所管室課

事業名	所管室課